

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

宮城県仙台市立六郷小学校

活動名：

課題を解決する協働的組織

～課題意識の共有と Co.の役割～

解決すべき課題：本校は児童 730 名程、職員 45 名の比較的大規模の小学校である。昨年度、様々な案件の度に教頭に指示を仰ぐケースが多い現状に驚いた。個々は指導力のある教員なのに・・・である。分掌が機能し、個々の教職員が持ち味を発揮して自主的に働くことができる組織作りのための Co.の役割を見出す。

目標・方針：職員間の課題意識の共有は必須である。児童の姿を語り合う中で職員の児童観・教育観を出し合い、目標を共有することで、職員はそれぞれの思考を働かせ、自主的に動ける職場になると考える。

- 協働型組織づくり…運営反省会では、「児童」「保護者」「地域」の実態から課題を洗い出し、**次年度の目標設定に教員の思いを反映する【写真1】**。学校評価を次年度計画【図1】に生かす。
- 校長の経営ビジョン実現のために…各組織が、重点目標実現のために創造性ある教育活動を提案し、確実な運営を行うために、Co.が、トップと現場双方の思いの伝達と進捗の確認を行う。
- 児童の姿での共有…**目指す姿を掲示【写真2】**し、**部会掲示板【写真3】**、**学年だより【写真4】**を工夫する。コーナーを学年や指導部会が更新・運営することで、職員間での教育観・児童観の共有を目指す。

活動内容：

- ◆ 1 協働型組織づくり 課題意識の共有のための中間反省と年度末反省(職員のワークショップ)
- ◆ 2 独立しつつ関連し合う三つの指導部会と Co.としての役割

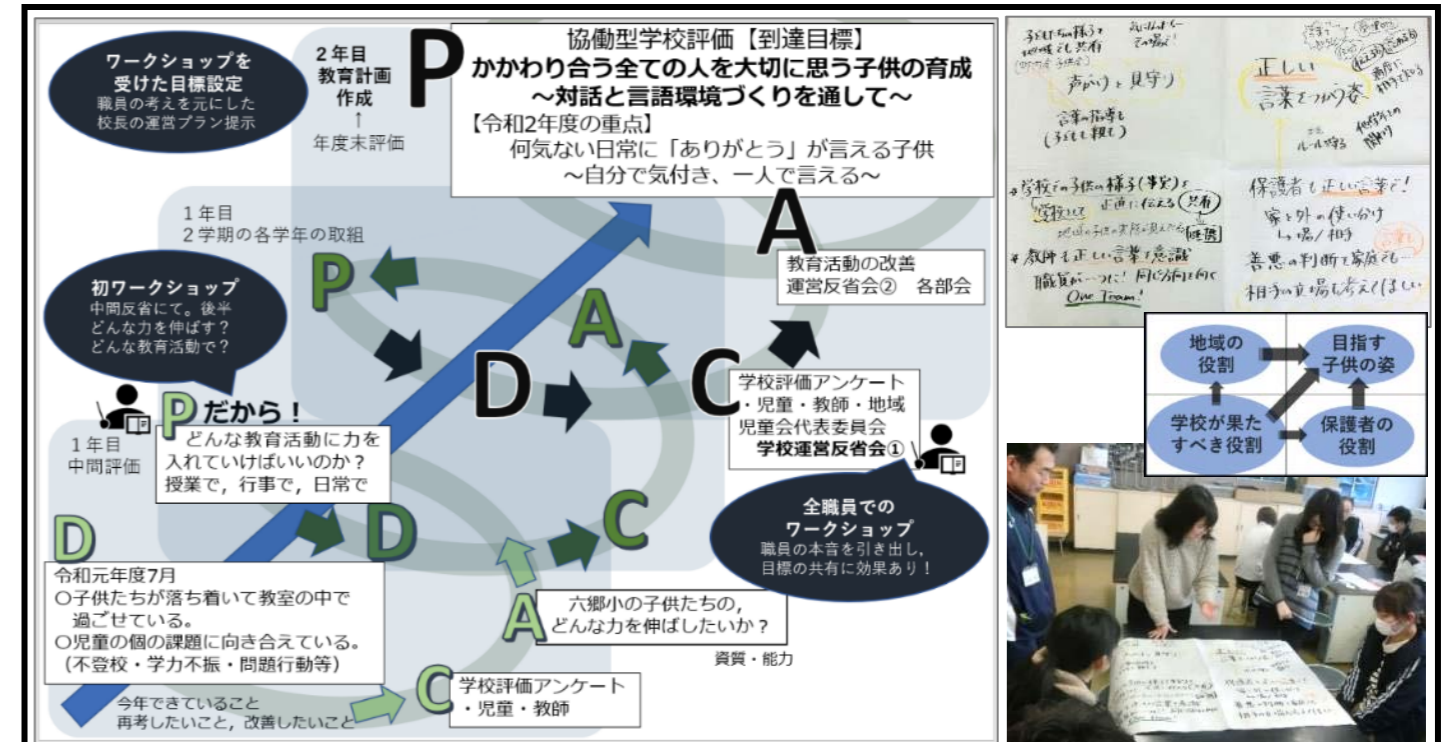
活動の成果：世界中を混乱に陥れた「コロナ騒動」。本校でも、情報の収集や整理、日々の対応に奔走する日々が続いた。そんな中にありながら、各部署でアイデアを出し合い、自主的に動く職員の姿がある。

年度末の協議内容は、校長が作成した令和2年度重点目標に反映された。協議の中で『職員が同じ方向を向く』ことの重要性を確認したことは、計画の見直しに生かされ、その後の専門性のある提案へと繋がった。Co.が、それぞれの取組を繋ぐ役割を果たす。具体的な例の一つが「**六郷小令和2年度スタートカリキュラム【図2】**」の計画と実施である。心のケアに留意しつつ段階的に学校生活をスタートさせ、児童個々の課題を把握しながら組織的な対応に繋げることもなった。職員からは、「様々な場面でたくさんの先生方が子供のために考えていることが伝わってくる。感謝。」「学級や学年間に指導の差が無く、子供だけでなく私も安心して過ごせた。」と、新しい学校生活様式の徹底について全校で取り組めたことへの効果の声が聞かれた。

児童の課題に対して、学年や学年部 Co.が中心に対応する体制ができた。担当に情報が集約され、教頭に報告されるシステムが機能し、情報の共有が図られる。未然防止に対する取組は、今後の課題である。

コロナ禍における制限ある生活の中でも、**重点目標実現に向けて新しい取組が誕生している【写真5】【資料1】**。Co.の調整のもと、互いを敬い合う関係性の中での提案が増え、会議の精選も図られている。

- アピールポイント (アイデアや工夫)：**
- ◆ 1 課題の共有→目標設定は“子供の姿の具体”で
 - ◆ 2 リスペクトし合う三指導部会…専門性を生かして
 - ◆ 3 新しい行事の誕生 前年度踏襲からの脱却



【図1】重点目標の設定と学校評価サイクル

【写真1】運営反省ワークショップ



【写真2】目指す児童の姿の掲示

【写真3】三指導部会の掲示板

【写真4】学年だより「ありがとう」紹介

5月中	学校生活	新しい学校生活様式	新しい学校生活様式
1	登校日①	手紙の出し合い 家庭学習中のアンケート	家庭学習の確認
2	登校日②	保健指導 手洗い・正しい知識	家庭学習の確認
3	登校日③	始業式 放送	登校日の間に、感染症 予防の指導を行います。
6/1	月	短縮4校時限	新しい学校生活様式 六郷小の取組
2	火	通常4校時限	給食指導
3	水	通常4校時限	新しい給食ルール
4	木	通常4校時限	生徒指導
5	金	通常4校時限	新しい休みの時間のルール 心の指導 偏見をなくそう
8	月	全校5校時限 通常給食開始	掃除開始
9	火	全校5校時限 避難経路確認	学習指導 学習への取組
10	水	全校5校時限	
11	木	全校5校時限	
12	金	全校5校時限 避難訓練(地震)	心の指導 SCより リラクゼーション
15	月	担任の先生と話し 自分の心と向き	
16	火	児童理解時間 1.2.3.4校時限	
17	水	3.4校時限	
18	木	3.4校時限	
19	金	3.4校時限	
22	月	全校5校時限 職員会議 15:00	
23	火	通常時短火曜短縮	心とからだの健康講座
24	水	放課後学びタイム①	
25	木		個別の学習補充 14:45-15:30
26	金		



朝のオリジナル体操タイム
【写真5】新しい取組の誕生
いつもと違う「1年生を迎える会」



気持ちをつなぐ応援メッセージ

●六郷の地域のみなさん
4月、「地域の子どもたちを守りたい！」父母会と六郷市民センターが、地域の各団体に声をかけたところ、地域のみなさんから、たくさんのマスクが集まりました。なかには、カラフルな手作りのマスクも！子どもたちを想う気持ちが詰まっています。六郷小学校に届けたところ、7月、体育館の意にメッセージが！！

また、8月5日(水)、六郷小学校の3年生8名が、六郷市民センターを訪れました。地域のみなさんへ、子どもたちの笑顔とともに、「ありがとう」の気持ちが届きました。

【図2】六郷小令和2年度「スタートカリキュラム」

【資料1】社会福祉協議会会報 8月号